

事業番号	09 04 01	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	園芸総合対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課	
		実施期間	H17 ～	E-mail	enchiku @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

長野県の園芸作物（果樹、野菜、花き、きのこ）は、県農産物総生産の約77%、(2,417億円/県全体3,126億円 令和3年農水省推計)を占める主要部門であり、レタス、りんご、カーネーション、えのきたけなど全国シェア上位品目をはじめ、質の高い多様な品目・品種がバランスよく生産されている。一方、生産者の減少や高齢化による生産構造の脆弱化の進行、連作障害の発生や不順天候の影響による作柄の不安定化、資材高騰等による生産コストの増加が課題となっている。

2 事業目的

県内で育成されたオリジナル品種や販売力の高い品目・品種の導入・拡大、スマート農業技術・環境にやさしい栽培体系の導入推進、規模拡大や生産効率化のための農業機械や集出荷施設等の整備により、競争力が高く、気候変動にも対応できる強靱な園芸産地を実現する。

3 事業目的を達成するための取組

①果樹の早期多収・省力栽培の導入推進及び県オリジナル果樹品種の生産振興

- ・りんご・ぶどうの多収・省力化栽培技術導入に向けた研修会の開催
- ・県オリジナル品種の生産拡大に向け技術習得や経営改善を支援
- ・頻発する凍霜害を防ぐための防霜ファン等の設置を支援



クイーンルージュ®目ざろえ会

②新鮮で高品質な花きを安定供給するための生産・流通技術の導入推進

- ・主要花きにおける需要期安定出荷栽培技術の導入に向けた現地実証や技術習得の支援
- ・主要花きや新規品目の生産性向上に向けた技術研修会の開催



花き研修会

③施設果菜類等増収技術や環境にやさしい栽培技術の普及推進

- ・環境モニタリング装置や細霧冷房等のスマート農業技術の推進
- ・環境にやさしい農業技術の普及に向けた実証試験の実施、研修会の開催
- ・施設果菜類等の増収につながる雨よけ施設や機械類の導入支援
- ・緑肥作物を活用した化学肥料削減の取組に対し、緑肥種子の購入費用を補助



緑肥作物研修会

4 成果指標

(推移の凡例 ↗: 改善 ↘: 悪化 →: 変化なし —: 数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度	R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績 推移	実績 推移			
①	ぶどう産出額	億円	419	492 ↗	506 (県推計値) ↗	431	達成	第4期長野県食と農業農村振興計画における、ぶどうの産出額（令和5年度：427億円→令和9年度：453億円）の2年目である令和6年度は431億円を目標とする
②	主要花き産出額	億円	51	58 ↗	59 (県推計値) ↗	48.3	達成	第4期長野県食と農業農村振興計画における生産目標（令和5年度：48億円→令和9年度：49億円）の2年目である令和6年度は48.3億円を目標とする
③	施設果菜類等の増収技術導入面積	ha	258	275 ↗	295 ↗	252	達成	第4期長野県食と農業農村振興計画における達成指標（令和5年度：245ha→令和9年度：273ha）の2年目である令和6年度は252haを目標とする

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況				目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	☆農業農村総生産額	億円	2022 (R4)	3,719	2023 (R5)	3,911	2024 (R6)	4,346 (県推計値)
2-1②	稼ぐ力とブランド力の向上	果実産出額	億円	2022 (R4)	904	2023 (R5)	1,000	2024 (R6)	1,031 (県推計値)
								2027 (R9)	3,700
									945

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額				決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額) うち一般財源		
R6年度	15,000	764,793	△ 138,637	641,156 48,020	490,507	3.1
R5年度	628,761	1,868,536	△ 1,416,224	1,081,073 52,950	1,025,209	3.1
R4年度	1,039,997	1,424,235	△ 213,683	2,250,549 54,628	1,492,382	3.1

事業番号	09 04 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	■点検
事業名	園芸総合対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課	

7 主な取組実績と成果

①果樹の早期多収・省力栽培の導入推進及び県オリジナル果樹品種の生産振興

- ・高密度植栽培における災害対策や栽培技術の研修会を実施し、技術者の指導力向上を行い、栽培面積の増加につながった。
りんご高密度植栽培基礎セミナー（3回、88名）、気象災害に強い果樹産地づくり研修会（1回、43名）、
りんご高密度植優良事例巡回調査（1回）
- ・「2024長野県ぶどうフォーラム」を開催し、栽培者等の生産意欲の高揚及び課題の意識統一を図った。（1回、298名）
- ・高品質な「クイーンルージュ®」の生産・出荷に向けて、直売所等での掲示用ポスターを配布した。
（3,000部）
- ・補助事業の活用した防霜ファンの設置支援により、果樹産地の生産力向上を図った。
（防霜ファン面積設置面積5.5ha）



りんご高密度植栽培基礎セミナー

②新鮮で高品質な花きを安定供給するための生産・流通技術の導入推進

- ・カーネーションにおける遮熱資材の効果検証やトルコギキョウにおける土壌病害対策について実証ほの他、地域性の高い品目の生産面での課題解決に向けた現地実証ほを設置し（11か所）、検討会を開催した（1回）。
- ・トルコギキョウの立枯れ病抵抗性品種の実証ほを設置し、現地検討会を開催した（1回）。
- ・アルストロメリアの特性調査を行い、優良品種を選定した（1か所）。



トルコギキョウ立枯れ病抵抗性品種現地検討会

③施設果菜類等増収技術や環境にやさしい栽培技術の普及推進

- ・補助事業を活用し、JAあづみ夏秋イチゴ部会において環境モニタリング装置の貸し出し、組立て研修会及びデータ活用勉強会を開催したほか、細霧冷房装置の導入支援及び効果の検討を行った。（事業実施面積1.8ha）
- ・技術者を対象とした、緑肥作物推進検討会の実施、減農薬・減化学肥料技術等の現地実証ほ（2か所）の設置を行った。
- ・施設果菜類等の増収につながる雨よけ施設の導入を支援した（3件）。



環境モニタリング装置の組み立て研修会

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	ぶどう産出額	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
技術者向けの栽培研修会や長野県ぶどうフォーラムにより、生産者の栽培意欲を高めるとともに、補助事業等により栽培に必要なぶどう棚資材の整備が進んだことで、R6年度もぶどう栽培面積が増加し、これが生産量の増加につながり、産出額も増加した。							
指標②	主要花き産出額	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
高単価の需要期出荷できたことに加え、特にアルストロメリアの生産が増加したことにより、産出額が増加した。							
指標③	施設果菜類等の増収技術導入面積	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
トマトの接ぎ木苗利用の現地検討会やスマート農業機器で取得したデータ活用勉強会、キュウリの品質向上共進会の実施等により技術導入による利点が面的に周知され、増収技術の導入面積が拡大した。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・ぶどう「クイーンルージュ®」の栽培面積が増加してきた一方で、着色不良等の栽培上の課題も浮き彫りとなってきており、さらなる栽培面積の拡大を図っていくためには、これらの課題の解決が必須である。また、令和6年度は影響なかったが、近年頻発化する凍霜害に対して、防霜ファンの設置による生産基盤強化が必要である。
- ・花きにおいては、高温の影響による品質低下、燃油高騰による経営の圧迫が続いているため、高温対策技術、省エネ・低コストの生産技術の導入拡大が必要である。
- ・野菜では、夏期高温などの気象変化を踏まえ、生産安定や持続性の高い栽培体系への転換が求められている。
- ・各品目とも、生産者の高齢化や担い手の減少により、今後、将来的な農業経営体数・作付面積が減少することが見込まれる。産地を維持するためには、担い手の確保や経営基盤の強化、生産性・収益性の向上を支援する取組が必要である。

(2) 事業改善の方策

- ・ぶどう「クイーンルージュ®」の生産をより一層進めるため、地域ごとの課題解決や安定生産に向けた技術研修会を実施するとともに、雨よけ施設等の生産基盤を強化し、ぶどう産出額の増加を図る。また、凍霜害に対応した防霜ファンの設置支援を継続する。
- ・花きでは、夏秋期の品質向上のための高温対策技術、省エネ・低コストの生産技術の検討と実証及び啓発を行い、生産者の経営向上と産出額の増加を図る。
- ・野菜では、スマート農業技術や雨よけ施設等による施設果菜類の増収技術の普及を図るとともに、露地野菜における緑肥作物や生分解性マルチ等の利用など環境にやさしい農業技術の導入を推進する。

事業名	園芸総合対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	----------	----	-----	-----	-------

細事業No.	細事業名		R4年度決算額	R5年度決算額	R6年度決算額
1	信州農業生産力強化対策事業		50,440 千円	47,240 千円	48,828 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州農業生産力強化対策事業	補助金	・長野県農業の多様な生産力の向上を図るため、新たな技術の現地への普及やマーケットニーズに対応した産地の育成に必要な機械・施設等の導入等を支援 ・頻発する凍霜害を防ぐための防霜ファン等の設置を支援 実施団体数：27団体		

細事業No.	細事業名		R4年度決算額	R5年度決算額	R6年度決算額
2	皆で取り組む園芸振興事業		2,950 千円	2,950 千円	2,856 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	果樹の多収・省力栽培の導入推進及び県オリジナル品種の生産振興	補助金	早期多収・省力栽培の導入推進及び県オリジナル品種の検討会の開催（果樹） 検討会の開催数：10回		
2	新鮮で高品質な花きを安定供給するための生産・流通技術の導入	補助金	需要期出荷量・品質等の向上に向けた実証ほ場の設置（花き） 実証ほ場の設置数：12か所		
3	野菜の安定生産技術・増収技術及び環境にやさしい農業の推進	補助金	野菜の収量向上技術や環境にやさしい農業の推進に向けた取組（野菜） 研修会・検討会の開催：11回		

細事業No.	細事業名		R4年度決算額	R5年度決算額	R6年度決算額
3	園芸産地強化対策整備事業		1,321,257 千円	946,877 千円	423,125 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	園芸作物産地基幹施設等の整備	補助金	生産・流通コストの低減や高品質で付加価値の高い生産・供給体制の確立等を図るため、野菜・果樹・花き集出荷施設の整備等を支援 実施地区数：6地区		

細事業No.	細事業名		R4年度決算額	R5年度決算額	R6年度決算額
4	果菜類増収技術普及推進事業		435 千円	999 千円	7,355 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	施設果菜類及びアスパラガスの増収技術に係る取組	補助金 直接	環境モニタリング装置を活用したデータ活用農業の推進、夏期高温対策としての細霧冷房実証ほの設置 細霧冷房実証ほ3か所、環境モニタリング取組1グループ		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
5	グリーン園芸転換推進事業		435 千円	3,647 千円	3,033 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	グリーン栽培の現地検証	補助金	環境にやさしい持続可能な栽培技術（グリーン栽培）の推進のため、廃プラスチック削減や減肥・減農薬に資する技術の現場実証を支援 実証か所数：2か所		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
6	化学肥料削減・緑肥転換緊急支援事業		- 千円	23,496 千円	5,310 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	化学肥料削減・緑肥転換緊急支援	補助金	緑肥作物を活用した化学肥料削減の取組を行う農家に対し、協議会等が緑肥種子を配布するための購入費用を補助 緑肥種子支援面積：83.8ha		